

# 講中お知らせ

平成30年(2018) 行動の年 2月号

法華講宝相寺支部「講中お知らせ」編集室 Tel. 0739-22-2232  
発行人 桐本昌吾 kirimoto3@msn.com / デザイン 玉置寛

## ●日如上人御指南

▼此の経の文字は皆悉く生身妙覚の御仏なり。然れども我等は肉眼なれば文字と見るなり。例せば餓鬼は恒河を火と見る、人は水と見る、天人は甘露と見る。水は一なれど果報に随って別なり。此の経の文字は盲眼の者は之を見ず、肉眼の者は文字と見る、二乗は虚空と見る、菩薩は無量の法門と見る、仏は一々の文字を金色の釈尊と御覧有るべきなり。即持仏身とは是なり。曾谷入道殿御返事（御書 794 頁）

▼「権花(キンカ)一日の榮」に囚われて、今なすべきことをなさずにいることほど愚かなことはありません。▼どうぞ、各位には受け難き人界に生を受け、値い難き仏法に値い奉り、御本仏の弟子檀那となった深い因縁を心に刻み▼この日本を救い、世界を救い、真の世界平和実現を目指して、いよいよ御精進くださることを心から念じ、本日の挨拶といたします。/平成22年1月度 広布唱題会

## ◆仏教的思念

●日如上人御指南▼日頭上人猊下のお歌のなかに、「かぎりなく、境涯ひろく 題目を 常にとなえつ 広布目指さん」(大日蓮 平成2年3月号72ページ) というものがあります。▼かぎりなく境界を開く題目を、一生懸命に唱える。そして常に唱えつつ、その同時進行で、広布を目指すとは折伏することです。/平成19年 大白法 7月16日号 法華講夏期講習会

▼明日の心配はしない事。ただ、最初の一步を楽しみ、歓喜して、今に唱題をする事。さすれば、歓喜の折伏の二歩目は自然に出て来るし、歓喜の三歩目はその後続く。▼だからあなたが心配する事は一つとして無い。/礼

と 天眼・慧眼・法眼・仏眼を備ふ  
と 法華経の行者は肉眼なれども  
と かくれて候



日蓮正宗  
今月の御書

(五眼御書 1674ページ)

## ◆宗教的思念

●日如上人御指南▼折伏は我々の言っていることを、相手が信じてくれなければ何なりません。相手の信頼に足る言葉、行いがなければ折伏は成就しないのであります。/平成24年7月度 広布唱題会

▼人間世界にはあらゆる困難と障害がある。大御本尊を信頼しなさい。妙法は決して誰も裏切りません。もちろんあなたも裏切りません。願いが叶わない時は、仏様はそれをお望みでは無いのです。どうしてもそうしたいと望むなら、大御本尊はその手段を与えて下さります。▼だから何もあなたは心配しないのです。/礼

## ◆生活的思念

●日如上人御指南▼「設ひいかなるわづらはしき事ありとも夢になして、只法華経の事のみさはぐらせ給ふべし」(兄弟抄 987)と仰せであります。一切のわだかまりも、障害も、苦悩も、困難も、内外の魔も、すべて題目によって粉碎し、勇猛心をもって折伏に励むところには、おのずと結果は付いてくるものであります。平成29年4月度広布唱題会

▼何もかも不自由な世界なのです。それが人間の感じる心、感性の一つなのです。だから人間には工夫が生まれる。▼ですから“歓喜”の人生を願うならば、「心」を“歓喜”に向かわせる「希望」が絶対必要なんです。だから宗教なのです。▼そうして生活の環境を出来るだけ整える。そのように心身を“歓喜”に結びつける生活、大御本尊・仏様と共にまします実践生活。それが仏法なのです。/礼

## ●宝日記

2010/2/24 ▼ここから始まる信心

▼信心には色々ある。サリン事件を起こしたオウム教みたいな考えられない宗教がある。創価学会は宗教と政党公明党がある。幸福の科学も政治に足を踏み入れている。市内のあちこちで立候補予定の顔写真入りのポスターが見かけるようになった。▼また、団体旅行気分が、天理教参拝などの話しを聞くが、経験がなく、本とかビデオなどで見ていないので詳しくは書くことが出来ない。▼宗教は修行の場であり、観光気分や政治経済に足を踏み込むべきものではないと思う。信心生活の中に選挙の票稼ぎが入っていたら、政治と宗教が混在していることになり問題が残る。▼信心とは、御本尊が安置されている仏壇に手をあわして、毎日朝と夕に勤行をする。法華講の信心はここから始まる。/實



## ◆カルト的思念

●日如上人御指南▼間違った教え、間違った考え、間違った思想、つまり三宝破壊の池田創価学会等をはじめ邪義邪宗の間違った教えにあり、この邪義邪宗の謗法を退治し、万民一同が「実乗の一善」に帰依しなければ、真の幸せを築くことはできないのであります。もちろん、ここで実乗の一善とあるのは、一往は法華経のことではありますが、ただし再往、大聖人様の御正意は文上の法華経ではなく、法華経文底独一本門の妙法蓮華経にして、三大秘法の随一・本門戒壇の大御本尊に帰依することが実乗の一善に帰することです。/平成21年6月度広布唱題会

▼家庭訪問でルス。ドアも開けてくれない。誰しも一度や二度そういう経験をする。▼玄関前で頭を下げ、胸中に大御本尊にお題目を唱え、一切に報恩感謝し、明日を信じる。▼相手は鏡です。講中はみんな妙縁の方々である。家庭訪問に行く前も、歩いて行く時も、仏様と共に在る自分を信じましょう。/礼

## ◆哲学的思念

●日如上人御指南▼徳を積むことは、まことに大事なことです。同じことを言っても、徳のない人の言葉は相手に通じません。▼まさに徳を積むということが、非常に大事でありまして、その徳を積む秘訣(ひけつ)こそ、唱題であります。▼しっかりとお題目を唱えて、妙法の功徳を我が身に植(う)えつけていくことが大事なのです。/大白法 九五四号 法華講講頭会

▼自分たちをがんじがらめに縛る規律を作ってしまう、身動きがとれなくなるんです。案件がうまくいかないときの遠因もここにあることが多い。▼行き過ぎのルールをどこかで破壊する、これが大切です。当社はこれまでも時代の変化にあわせて規則を作っては壊したり、修正したりしてきました。今後も、既存の価値観を修正していく作業が続けられるうちは大丈夫だと思う。/三菱商事の垣内威彦

## ●法華講支部から

▼新年が始まって1ヶ月が過ぎました。寒さも厳しく風邪・インフルエンザなどの流行り病の季節ですので、体調に気を付けてまいりましょう。▼先日の地方部総会でも前半の半年が大切との御指導がありました。▼「やるぞ」という緊張感は半年間を過ぎると緩んでくるでしょう。地方部総会、春期総登山、支部登山、夏期講習会登山と支部総会と登山会や支部の活動も前半に集中しているのもそのためかもしれません。▼今年の折伏の誓願成就も前半にかかっています。是非とも前型で頑張ってください。/桐

